「発酵文化促進機構総会」で、
小泉武夫先生から発表された

クジラのサプリメント『ダッシュ』

北米沖から 8000km を、南氷洋に向かって断食しながら数ヶ月で、一気に泳ぎ切るというクジラのスタミナ。
最近の研究で、その生命力は筋肉中にあるアミノ酸 『バレニン』 という物質によることが解明されました。これを元に作ったサプリメントが「ダッシュ」です。

薬事法のからみで、効果効能がうたえないため、メーカーチラシの表現をそのまま借りていますが、 男女共に毎日の元気を応援し、健やかで若々しくありたい方のために開発されたものです。
開発者は、クジラ食文化を守る会会長で東京農大名誉教授の小泉武夫先生です。

クジラ食文化を守る会会長
小泉 武夫博士監修
バレニン含有クジラ筋肉抽出エキス

4,800mg（1 袋当たり）

約 30 日分 60 粒 **5,400 円**

●「クジラ」のはなし

例のオランダハーグにおける捕鯨問題の裁判は、報道されているような決議や一方的なものではなく、余り知らされていないその前文に、日本の正当性が詳しく述べられている、という。為に、すでに北大西洋捕鯨は再開され、いずれ南氷洋も再開されるもようです。世界から、捕鯨国日本が悪者にされているようですが、そもそも IWC が日本に委託して調査捕鯨を任されている事が知らされていない。すでに、シーシェパードは世界的テロ集団として国際指定されている。
今、食べている鯨肉の多くは、ノルウエー・アイスランドの商業捕鯨で漁獲されたものである。現在、世界の海は大変なことになっている。生態系が狂い、加えて異常気象が続く。ミンク鯨が 78 万 8 千頭、シロナガス鯨が 100 万等、人間が魚介を食する 4.7 倍も食べており、海の生態系が崩れ、大衆魚が全く取れなくなって来ている。今、BSE、鳥インフル、1000 万頭の豚感染で、動物性蛋白が食べられないような時代を迎えている。牛肉 1kg 造るのに、穀類 7kg 必要だ、つまり Co2 を後押しする。だが、牛 70 億頭の糞尿が土と海に染みて、硝酸化している。
加えて牛のゲップがメタンを放出すること Co2 の 17 倍と言う。捕鯨反対のアメリカには、プロパガンダと人種差別が根底にあると指摘。だが、飼料も要らず、環境も汚さずして、鯨1頭で、8000 人が養われる。
まさに「クジラは、人類世界を救う」とは、真実である。

まほろば主人